



被災地へエールを送った 「牛深ハイヤ祭り」と市をあげての支援

天草市長 安田 公寛

市長
随筆

「東日本大震災」で被災された皆さんへの配慮から、各地のイベントや式典が自粛される中でしたが、4月15日から17日までの3日間、「第40回牛深ハイヤ祭り」が実施されました。

今回の祭りの開催には賛否両論ございましたが、『牛深ハイヤ節』は、江戸時代、海運の中継基地として栄えた牛深で、風待ち、シケ待ちの船乗りたちをもてなす酒盛りの歌として歌い出されたのが始まりで、北前船によって日本中に広がり、全国に現存するハイヤ節系の民謡の源流となっていることから、「天草から南風に

乗せて 頑張れ東北！がんばろう日本！」のローガンを掲げ、復興支援を含め被災地を励まそうということで実施されたものです。

今後、被災地住民の皆さんの避難生活の長期化が懸念されることから、本市でも義援金や救援物資支援はもとより、被災者の受け入れ、被災地支援のための技術職、保健師、一般職などの職員派遣にも取り組んでおります。

私は、この国難ともいえる難局から日本が脱却するには、何よりもまず国民の連携と連帯が必要であると考えています。

煌めく人々たち

天草産のオリーブオイルを使った料理を夢見て

宮崎 文子 さん（五和町鬼池・63歳）



五和町鬼池に住む宮崎文子さんは、鬼池港のフェリーターミナルの近くで、家族とともに民宿兼食堂、そして料理の仕出し業を営んでいる。宮崎さんはここで出される料理のすべてを取り仕切っており、経営を支える屋台骨だ。そんな宮崎さんは、同町で昨年11月に開かれた、オリーブオイルソムリエ・小暮剛氏による料理講習会への参加をきっかけに、オリーブオイルの魅力にすっかりはまっている。

「今後は、天草産のオリーブオイルを使ったオリジナルの料理を作りたい」と宮崎さん。現在、外国産のオリーブオイルを使用する中であって、市が推進しているオリーブ栽培には、大きな期待を寄せている。オリーブの島づくりの成功を信じて、今日も自慢の腕をふるう。

やドレッシングなどにはオリーブオイルを使用。お店で出す料理にも使っていた。ところが、「試食したタイやブリを使ったカルパッチョ（刺し身にオリーブオイル・スパイスなどをあえた料理）のおいしさに、衝撃を受けた」と宮崎さん。しょうゆとオリーブオイルの相性の良さには、目からうろこが落ちたという。当然、料理人としての血も騒いだ。試食したカルパッチョは、すぐに民宿の献立に取り入れられ好評を博しているほか、食堂の看板メニューであるちゃんぽんには、後付けの調味料としてニンニク入りのオリーブオイルを用意。やみつきになる味は、多くの人をうならせている。

ハッピーバースデー

HAPPY BIRTHDAY
今日で1歳になります



佐藤 虹 ちゃん

栖本町馬場
父・薫さん
母・明子さん

らい兄、ひょう姉、しずく姉いっぱい遊んでね。



池崎 祐貴 くん

五和町鬼池
父・正志さん
母・文子さん

じいちゃん、ばあちゃんいつもありがとう。これからもたくさん遊んでね！



三山 璃央 ちゃん

佐伊津町
父・剛さん
母・芙美さん

大好きな、らい兄ちゃん。これからもたくさん遊ぼうね。



河内 駿磨 くん

有明町下津浦
父・淳さん
母・知子さん

あさひおねえちゃん大好き！いっぱい大きくなるよ。



石元 将仁 くん

北浜町
父・和豪さん
母・涼子さん

河浦と楠浦のじいじ、ばあばあ、いつもありがと♡



岩崎 奏良 くん

五和町城河原
父・正道さん
母・正子さん

じいじ、ばあば、姉ちゃん大好き。これからもいっぱい遊んでね。



上元 心花 ちゃん

亀場町亀川
父・聖大さん
母・晴香さん

じいじ、ばあば大好き♡これからもいっぱい遊ぼうね☆



福田 礼織 くん

丸尾町
父・和春さん
母・真理さん

かいり兄ちゃん、仲良くさくら保育園に行こうね！



黒田 真央 ちゃん

浜崎町
父・賢三郎さん
母・美和さん

あい姉ちゃん、大好き♡ずっと仲良しでいようね。

6月で満1歳になるお子さんを募集します！

●応募期限＝5月10日〇まで（必着）。

●応募方法＝写真裏にお子さんの住所、氏名（ふりがな）、生年月日、性別、電話番号、コメント（30字以内）、保護者名（父・母）を記入し、〒

863-8631（住所記載不要）天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで（応募者多数の場合は抽選）とし、応募写真は返却しません。

読者のつぶやき



「ぎゃんいたて、ぎゃん曲がって、また右さんぎゃん曲がって、まっすぐ行けば着く」。ある会話を聞いていたときの事です。これだけで行く先が通じるなんて、カーナビゲーションも真っ青。ただし、説明のときは身振り手振りが外国人のようでした。

ペンネーム：どぎゃん

乳飲み子の娘を抱きかかえてスーパーマーケットへ。目当ての商品では、すでに取り合い合戦が。「無理だ…退散しよう…」。すると、ひとりの女性が「何がいます？」と代わりに取ってきてくれました。あのとき作った肉じゃがの味は、今でも忘れられません。

ペンネーム：買物戦線異常ナシ！



皆さんからのお便りを募集しています！

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、100字程度（応募者多数の場合は選考）。※表記などを統一するため、趣旨を変えず文章を直すこともあります。

▶応募期限＝5月10日〇まで（必着）。

▶応募方法＝寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入し、天草市役所秘書課へ提出してください。

【郵送・持参】

〒863-8631 市内東浜町8-1（郵送の場合は住所記載不要）

天草市役所・秘書課広報聴係

【電子メール】

hisyoka@city.amakusa.lg.jp